

MitsuiSougou通信

梅雨の意味と過ごし方

梅雨入りが近づいてきました。暑い夏が来る前の長雨シーズンの到来です。毎年6月頃、気象庁の「梅雨入り宣言」が話題になりますが、梅雨は旧暦では5月。「五月雨（さみだれ）」とはこの梅雨の時期の雨を指すものでした。雨が多く気分も沈みがちですが、お気に入りの傘やレインコート、長靴などで雨のおしゃれを楽しんだり、梅雨の意味を知り、湿気や食中毒の対策をしましょう。



◀「入梅（にゅうばい）」は「雑節」のひとつ▶

「雑節」とは、日本の季節の移り変わりをよりわかりやすく表したもので、主に農作業に深くかかわっています。雑節には「節分」、「お彼岸」、「社日」、「八十八夜」、「入梅」、「半夏生」、「土用」、「二十日」、「二十十日」があります。暦の上では「入梅」は6月10日頃から目安とされています。田植えなどの農作業にとっては恵みの雨でもあり、大切な季節でもあります。

◀「梅雨」の意味は？▶

6月は日本各地が梅雨の季節に入る「入梅」を迎えます。例年、「入梅」から7月上旬頃の「梅雨明け」まで、北海道を除く一帯に長雨が降り、湿度も高くなってじめじめした日が続きます。「梅雨」というのは、ちょうど梅の実が熟す頃に雨が降ることからつけられた名前とされています。他にも、木の葉などにおきる「露」をさす、物が悪くなったり弱ったりする「ひつゆ」が転じたもの、カビが生えて色々なものが悪くなる時期のため、「黴雨（ばいう）」という、などの諸説もあります。

◀なぜ雨が降り続く？▶

この時期、東南アジアでみられる気象状況によるものです。大陸の冷たい高気圧と、太平洋の暖かい空気がぶつかり、大気の状態が不安定になり、そこで発生した梅雨前線が停滞するので、雨が続きます。雨の日でも蒸し暑い日と涼しい日があるのは、ふたつの気圧のせめぎ合いのためです。

◀雨をよける「てるてる坊主」の由来は？▶

運動会や遠足など、子どもたちが楽しみにしている行事の日が雨にならないように、願いを込めて飾るてるてる坊主。梅雨の時期にも軒先やベランダによくみられるものです。その由来は、手に持ったほうきで雲を払い、晴れの気を呼ぶといわれる、中国の「掃晴娘」とされています。本来は女の子だったのですが、日本では僧侶などが日乞いをしてきたため、男性の姿に変化したといわれています。この習慣は現在の中国ではほとんど見かけないものです。



◀湿気対策はぬかりなく▶

エアコンや除湿器、扇風機や換気扇を使って、室内の空気を動かしましょう。洗濯物を室内に干すことも多く、湿度が上がってしまうこの時期、油断するとカビの発生を許してしまいます。湿度がこもりやすい押し入れやクローゼットなどは、扉を開けて扇風機の風をあてるなど工夫してみましょう。

◀食べ物にも要注意▶

梅雨の季節は食中毒が気になる季節でもあります。調理器具やキッチンは常に清潔。調理前は手を消毒する習慣をつけましょう。冷蔵庫は食材を入れすぎると冷蔵効果が落ちてしまいます。また、雑菌効果の高いお酢もどんどん活用しましょう。例えば、お弁当。おかずを詰める前にお酢でお弁当箱をさっと拭いて消毒したり、お米を炊くときにお酢を混ぜておくと、傷みにくくなります。お米2合に大さじ1杯弱が目安です。

◀体にいい「梅」を食べよう▶

強い抗菌力を持ち、疲労回復に効果があるクエン酸をたっぷり含んだ梅。梅酒や梅干しは昔から保存食として活用されてきました。現在では、料理はもちろん、はちみつや氷砂糖に漬けたシロップやジャムなどのスイーツも登場するなど、梅を使う保存食のバリエーションも増えています。ちなみに、梅干しを作るときは黄色く熟した梅を使います。



(出典：DCM(株)ホームページ)

安全運転アドバイス

ドライバーには歩行者を保護する義務がありますが、特に事故に遭いやすい子供に対しては、十分な注意が必要です。そこで今回は、事故につながりやすい子供の行動特性と子供を事故から守るためのポイントをまとめてみました。

【事故につながりやすい子供の行動特性】

手を上げて渡れば横断歩道は安全と考えている

子供のなかには、手を上げて渡れば横断歩道は安全と考えて、車が接近しているか否かを確認せずに横断したり、車が接近していても車が止まってくると考えて横断することがあります。また、片側1車線の道路では、片方から接近する車が停止すると、その反対車線を走行している車の接近を確認しないまま横断することがあります。

道路の反対側に友達などがいると横断する

道路の反対側に子供の友達や親などがいる場合、安全確認をせずに、いきなり道路を横断することがあります。特に登下校の時間帯は、子供たちが道路の両側を通行することが多く、反対側に友達を見つけて急な横断をする危険性が高まります。また、登下校中の子供は集団になりやすく、子供同士でふざけあうなどして、急に車道に出てくる場合もありますので、注意が必要です。

【子供を事故から守るために】

横断歩道に子供がいる時は必ず停止する

横断歩道に接近する時は、歩行者などがいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の直前で停止できるような速度で進行しなくてはなりません。また、子供に限らず、横断歩道を横断しようとしている歩者がいる時は、車は一時停止して歩者の横断を妨げないようにすることが義務づけられています。特に子供は、手を上げれば車が止まってくると思って、車が接近している場合でも横断することがあります。横断歩道を横断しようとしている子供がいる時は必ず一時停止して、子供を横断させましょう。

子供のいる道路の反対側にも目を向ける

道路脇に子供がいる時は、その子供だけでなく、道路の反対側にも目を向けて、子供の友達や親などがいないかどうかを確認しましょう。もし、道路の反対側に友達や親などがいる場合には、急に道路を横断することが予測されますから、減速し徐行するなど、子供の飛出しに対応できるようにしておきましょう。

通学路の走行はできるだけ避ける

標識や路面標示で「通学路」に指定されている道路では、特に朝と午後の登下校の時間帯の走行は、できるだけ避けましょう。やむを得ず走行する時は、登下校中の子供は、ふざけあって急に車道に出てくる可能性があるということをしっかり頭に入れて、子供の動きに注意し、十分に速度を落としましょう。



◆おいしいレシピ◆ ～鶏もも肉の梅おなか炒め～

さっぱりしていますが、かつお節効果でうま味がアップ！！

【材料】

- ・鶏もも肉 1枚 ・油（オリーブオイル使用） 小さじ1
- 【A】・梅肉 大さじ1 ・みりん 大さじ1
- ・かつお節 少量

【作り方】

1. 鶏もも肉は一口大に切る。
 2. フライパンに油をひき強火にかけ、鶏もも肉の皮目から焼き色がつくまで焼き、裏返し蓋をして中火で3分蒸し焼きにする。
 3. ②の火を止め、混ぜ合わせた【A】とかつお節を加え混ぜ合わせる。
- ☆鶏肉を焼いて、梅肉タレを加える前にキッチンペーパーでフライパンに出た脂をきれいに拭き取ってから梅肉タレを加えて下さい。脂が残っていると梅肉タレが絡みづらくなります。

